

蛇雄 作

「碧の静樹海」

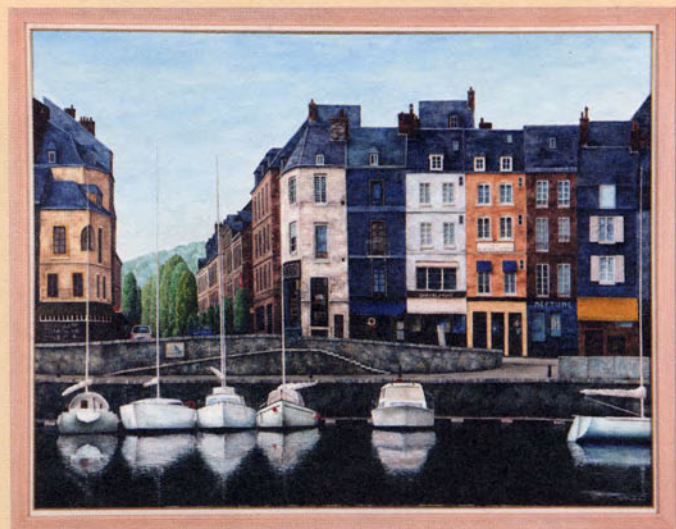
「私は私しか描けない絵を描くことに傾注している。物の形のみならず、その奥にあるものをどう描くか。一センチ四方に絵を切り刻んでも、私の絵とわかる絵を、深い緑、研ぎ澄まされた青『深海のウィーナス』それが私の絵だ。」

細く曲がりくねった路地を、歩いている人に追い越されるくらいゆっくりと走る市電。子どもたちが「つかまり乗り」している。リスボンの風景になくてはならない人々の足「市電」。



高橋 文平 作

「リスボンの市電」



高橋 文平 作

「オンフルールの旧港」

外の街灯はまだ明けやらぬこのオンフルールの港をほんやりと照らし出していた。夜食を待つ間にテーブルクロス（ペーパー）に空心から見える景色を描き「オンフルール」のスプリングを店の女の子に教えてもらったレストランとのこと。